学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030A1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(工学)/Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	近藤 智惠子/Kondou Chieko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	近藤 智恵子/Kondou Chieko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	近藤 智恵子/Kondou Chieko		
科目分類 / Course Category	 数春ゼミナール科日		選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	HETTALIA TOUTION OLYTO	MA / Somma
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部機械工学コース 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			えて送信してください\
担当教員研究室/Office	ME-D301(工学部1号館 3階)	かで区間する際は でのに直と探	7. CEGO C (REVI)
担当教員ITEL/Tel	095-819-2527		
担当教員「EL/Tel 担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで連絡すること .		
担当教員オフィスアワー/OTTICE Hours			が活動に取り組み 指道教員や
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グループメンバーとのディスカッ つけると共に,口頭発表やレポート ことをねらいとする。	の配動の子首に順応し,百至のに次応 ションを通じて工学・科学に関する 〜作成を通じて技術者(研究者)とし	論理的思考力と倫理観を身に
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミ 4) わかりやすい口頭発表とレポー	- ト作成ができる。	4 7 2
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 () () () () () () () () () (E張し,行動することができる"に該当	
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course(pick 1 to 3)	Diversity 土海生/Autonomy	協働性/Cooperativeness 考	-
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性,予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか,コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか,話し方は適切か,図表が適切に配置されているか,図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか,文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で取り上げられたテーマにつ	毎回の授業内容の理解に努める。(2h いて,文献検索などを利用して整理す	,
キーワード/Keywords	能動的学習,理論的思考力,倫理観	, ブレゼンテーション能力	
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配付する		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948
(M. 44) -	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
15朱叶四叶灿 / Course Schedure	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス,シラバスと成績評価基準の説明,自己紹介(1年生担任)(対面)
第2回	文献・資料の探し方,図書館ガイダンス(対面)
第3回	情報セキュリティー基礎講習会(ICT基盤センター資料による講義) (対面)
第4回	ポートフォリオ説明,入力演習(対面)
第5回	関数電卓の使い方(対面)
第6回	レポートの書き方・提出のルール,プレゼンテーション(対面)
第7回	機械工学の構成と概要(1年生担任)(対面)
第8回	材料力学概論(対面)
第9回	機械力学概論(対面)
第10回	流体力学概論(対面)
第11回	熱力学概論(対面)
第12回	班別の課題調査&プレゼンテーション - 実施要領,班分け,課題の決定 (対面)
第13回	班別の課題調査&プレゼンテーション - 課題調査 (対面)
第14回	班別の課題調査&プレゼンテーション - 課題調査とプレゼンテーション準備 (対面)
第15回	班別プレゼンテーション と最終個人レポートの作成・提出 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030A2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		•
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	浜崎 真一/Hamasaki Shinichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	浜崎 真一/Hamasaki Shinichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	浜崎 真一/Hamasaki Shinichi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目 / Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部電気電子工学コース1年生		
	教務委員 浜崎		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hama-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教務委員 浜崎:工学部2号館507 チュータ教員については講義資料	で掲示する。	
担当教員TEL/Tel	教務委員 浜崎 095-819-2548		
担当教員オフィスアワー/Office hours	教務委員 浜崎:金曜5時間目 チュータ教員については各自で問		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	やグループメンバーとのディスカ	の能動的学習に順応し、自主的に知 ッションを通じて工学・科学に関す ート作成を通じて技術者(研究者)	る論理的思考力と倫理観を身
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミ 4) わかりやすい口頭発表とレポー 主としてDP- の " 自ら学び、考え		"に該当する.
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	F.教員からの講義のみで構成される ・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	計細は投業計画計細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で取り上げられたテーマにつ	毎回の授業内容の理解に努める。(2 いて、文献検索などを利用して整理	
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理	観、プレゼンテーション能力	
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		

受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介(対面)
第2回	電気電子工学入門 (対面)
第3回	電気電子工学入門 (対面)
第4回	電気電子工学入門 (対面)
第5回	情報セキュリティに関する講義(対面)
第6回	図書館ガイダンス(対面)
第7回	ポートフォリオ作成(対面)
第8回	ラーニングティップス,ロジカルライティング(対面)
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)
第10回	コンピュータ利用ガイダンス:実験関連レポート作成 (対面)
第11回	コンピュータ利用ガイダンス:実験関連レポート作成 (対面)
第12回	コンピュータ利用ガイダンス:プレゼンテーション作成(対面)
第13回	グループ研究テーマに関するプレゼンテーション資料作成
第14回	グループ研究テーマプレゼンテーション,ディスカッション(対面)
第15回	レポート作成に関する指導(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5, 金/Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credit (General /Transfer/Overseas)	s 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030A3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	 初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 逸鴻		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳逸鴻		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳逸鴻		
科目分類 / Course Category	┃ 数春ゼミナール科日 教春ゼミナ		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	m432/////// Odd100 Oty10	/A H / COMMINICA
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部1年生		
	chan.iathong nagasaki-u.ac.jp) (陳)	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	(メールを送信する際は、 を@に		
担当教員研究室/Office	工学部1号館5階教員・ゼミ室502		
担当教員TEL/Tel	095-819-2599 (陳)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3校時,メールにて随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	やグループメンバーとのディスカ	の能動的学習に順応し、自主的に知 ッションを通じて工学・科学に関す 一ト作成を通じて技術者(研究者)	する論理的思考力と倫理観を身
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミ 4) わかりやすい口頭発表とレポー 主としてDP- の"自ら学び、考え		"に該当する .
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy to exchange ideas 国際・地均	ice 倫理観/Ethics 多様性の 協働性/Cooperativeness ま 或社会への関心/Interest in inte	D理解/Understanding ぎえをやり取りする力/Ability rnational / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者とvarious perspectives C.技能修得のために実践する活D.問題解決のために知識を総合utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching the above	hink over olving others to think from for acquiring skills es that comprehensively methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	F.教員からの講義のみで構成される ・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review		毎回の授業内容の理解に努める。(いて、文献検索などを利用して整理	•
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理		_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
AND ALL CHARLES AND A TOTAL CONTROL OF THE CONTROL	1		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
m-5/NGIIIai N3	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニンクティッフス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
 実務経験のある教員による授業科目であるか	inttps://www.minov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(対面)
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導(対面)
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導(対面)
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導、グループ分け(3~7名一組)(対面)
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)
第9回	プレゼンテーションに関する指導 (対面)
第10回	プレゼンテーションに関する指導 (対面)
第11回	プレゼンテーション資料の作成 (対面)
第12回	プレゼンテーションの練習(対面)
第13回	プレゼンテーション大会予選(各クラスから1チームを選出)(対面)
第14回	プレゼンテーション大会決勝(各クラスから選ばれた15チームによる決勝)(対面)
第15回	レポート作成に関する指導 (対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		•
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030A4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		•
	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	中村 聖三/Nakamura Shozo		
course syllabus 授業担当教員名(科目責任者)	中村 聖三/Nakamura Shozo		
/ Instructor in charge of the course 授業担当教員名 (オムニバス科目等)	 中村 聖三/Nakamura Shozo		
/Instructor(s)	中的 奎二/Nakamura Shozo		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		•
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shozo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階 教員・ゼミ室30	9	
担当教員TEL/Tel	095-819-2613	-	
担当教員オフィスアワー/Office hours		 ξすが,できるだけ事前にメール等で	で連絡してください
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学で やグループメンバーとのディスカ につけると共に、口頭発表やレポ けることをねらいとする。	の能動的学習に順応し、自主的に知 ッションを通じて工学・科学に関す ート作成を通じて技術者(研究者)	的活動に取り組み、指導教官 る論理的思考力と倫理観を身
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミ 4) わかりやすい口頭発表とレポー 主としてDP- の"自ら学び、考え		'に該当する .
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性/Autonomy		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者とvarious perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching the above れる br>/ It consists only of I	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate ectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・ディスカッションへの積極的参 ど) ・プレゼンテーション 20%(スト るか、図表は適切に引用されてい ・レポート 20%(レポートの体表	፤探求のための計画の妥当性、予習な加 30%(発言しているか、コミュコ 〜ーリー性はあるか、話し方は適切な るかなど) 載となっているか、文脈は正しいかな	ニケーションがとれているかな か、図表が適切に配置されてい
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
s 事前、事後学修の内容/Preparation & Review		毎回の授業内容の理解に努める。(2 いて、文献検索などを利用して整理	·
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	~		
ス映文IT(REPSホIT)/FIGICYUISILES	l .		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Υ
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教	実務家教員名:中村聖三
育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使	実務経験内容:川崎製鉄(株)での勤務経験
用)/Name / Details of practical experience /	実務経験に基づく教育内容:民間企業での勤務経験を活かして,社会で必要とされるデータ分析技
Contents of course	術の基礎を教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介(対面)
第2回	ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ ルール)(対面)
	''PWUID # 보 / F' > . ㅋ
第3回	資料収集ガイダンス,情報セキュリティ(対面)
第3回 第4回	·
	情報セキュリティ(対面)
第4回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面)
第4回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)(対面)
第4回 第5回 第6回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)(対面) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)(対面)
第4回 第5回 第6回 第7回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)(対面) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)(対面) データ分析演習 (データ分析の心構え)(対面)
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)(対面) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)(対面) データ分析演習 (データ分析の心構え)(対面) データ分析演習 (データ分析の設計)(対面)
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)(対面) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)(対面) データ分析演習 (データ分析の心構え)(対面) データ分析演習 (データ分析の設計)(対面) データ分析演習 (データ分析の計)(対面)
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)(対面) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)(対面) データ分析演習 (データ分析の心構え)(対面) データ分析演習 (データ分析の設計)(対面) データ分析演習 (データ分析の設計)(対面) データ分析演習 (データ分析の事前チェック)(対面) データ分析演習 (分析方法の選択)(対面)
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)(対面) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)(対面) データ分析演習 (データ分析の心構え)(対面) データ分析演習 (データ分析の設計)(対面) データ分析演習 (データ分析の事前チェック)(対面) データ分析演習 (分析方法の選択)(対面) データ分析演習 (標準偏差の使い道と求め方)(対面)
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	情報セキュリティ(対面) 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)(対面) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)(対面) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)(対面) データ分析演習 (データ分析の心構え)(対面) データ分析演習 (データ分析の設計)(対面) データ分析演習 (データ分析の事前チェック)(対面) データ分析演習 (分析方法の選択)(対面) データ分析演習 (標準偏差の使い道と求め方)(対面) データ分析演習 (グループ間の差の確からしさの検証方法)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		•
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030A5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the			
course syllabus	鈴木 誠二/Suzuki Seiji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 誠二/Suzuki Seiji		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	 鈴木 誠二 / Suzuki Seiji		
/ Instructor(s)	·		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssuzuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	水圏環境研究室		
	095-819-2623		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金 16時10分~		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	やグループメンバーとのディスカ につけると共に、口頭発表やレポ けることをねらいとする。	の能動的学習に順応し、自主的に知 ッションを通じて工学・科学に関す ート作成を通じて技術者(研究者)	る論理的思考力と倫理観を身
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミ 4) わかりやすい口頭発表とレポー 主としてDP- の"自ら学び、考え		'に該当する .
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性/Autonomy		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者とvarious perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching the above れる br>/ It consists only of I	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate ectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・ディスカッションへの積極的参 ど) ・プレゼンテーション 20%(スト るか、図表は適切に引用されてい ・レポート 20%(レポートの体表	፤探求のための計画の妥当性、予習な加 30%(発言しているか、コミュコ 〜ーリー性はあるか、話し方は適切な るかなど) 載となっているか、文脈は正しいかな	ニケーションがとれているかな か、図表が適切に配置されてい
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		毎回の授業内容の理解に努める。(2 いて、文献検索などを利用して整理	·
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理		, ,
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites		-	

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	 授業内容 / Contents
H(Hrs)/ Timo(date and time)	IXXIII / Contonto
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等
, , , , ,	
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・
第1回 第2回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ ルール)
第1回 第2回 第3回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ
第1回 第2回 第3回 第4回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の心構え)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の設計)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (分析方法の選択)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の心構え) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック) データ分析演習 (分析方法の選択) データ分析演習 (標準偏差の使い道と求め方)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック) データ分析演習 (分析方法の選択) データ分析演習 (標準偏差の使い道と求め方) データ分析演習 (グループ間の差の確からしさの検証方法)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		•
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030A6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石橋 知也/Tomoya Ishibashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石橋 知也/Tomoya Ishibashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石橋 知也/Tomoya Ishibashi		
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目、教養ゼミナ		選択科目 / Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	・,	H-9-32/17/EX / COUT-CO CLYTC	/XE / Odminici
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	itomoya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	1号館3階 教員・ゼミ室304		
担当教員ITEL/Tel			
	095-819-2611 叫冷杉二才 z		
担当教員オフィスアワー/Office hours	別途指示する。	ᄌᄽᆍᆉᄼᅭᄽᄝᆝᆫᄦᅕᆝᅟᅟᅌᆠᄼᆈᇆᇨ	55年1月1111111111111111111111111111111111
授業の概要及び位置づけ/Course overview	やグループメンバーとのディスカ につけると共に、口頭発表やレポ けることをねらいとする。	の能動的学習に順応し、自主的に知 ッションを通じて工学・科学に関す ート作成を通じて技術者(研究者)	る論理的思考力と倫理観を身
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミ 4) わかりやすい口頭発表とレポー 主としてDP- の"自ら学び、考え		'に該当する.
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性/Autonomy		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者とvarious perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching the above れる br>/ It consists only of I	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate ectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・ディスカッションへの積極的参 ど) ・プレゼンテーション 20%(スト るか、図表は適切に引用されてい ・レボート 20%(レポートの体表	顔探求のための計画の妥当性、予習な加 30%(発言しているか、コミュ= 〜ーリー性はあるか、話し方は適切な るかなど) ∜となっているか、文脈は正しいかな	ニケーションがとれているかな か、図表が適切に配置されてい
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		毎回の授業内容の理解に努める。(2 いて、文献検索などを利用して整理	
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理	観、プレゼンテーション能力	
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	 授業内容 / Contents
H(Hrs)/ Timo(date and time)	IXXIII / Contonto
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等
, , , , ,	
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・
第1回 第2回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ ルール)
第1回 第2回 第3回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ
第1回 第2回 第3回 第4回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の心構え)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の設計)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (分析方法の選択)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスブレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の心構え) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック) データ分析演習 (分析方法の選択) データ分析演習 (標準偏差の使い道と求め方)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等 ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール) 資料収集ガイダンス、情報セキュリティ 図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク) 図形表現に関する演習 (図解思考の方法) 図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック) データ分析演習 (分析方法の選択) データ分析演習 (標準偏差の使い道と求め方) データ分析演習 (グループ間の差の確からしさの検証方法)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030A7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	馬越 啓介/Umakoshi Keisuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	馬越 啓介/Umakoshi Keisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	馬越 啓介/Umakoshi Keisuke		
	 	11 秋日 十类胶料日(排洗) 白山	2思扣到 只 / Clook ive Courses
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	- 4L	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年 。	王	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumks@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部 1 号館 2 階 錯体化学研究	室 1 ————————————————————————————————————	
担当教員TEL/Tel	095-819-2672		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 5 校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけるととなる。		
授業到達目標/Course goals	 1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の"自ら学び、考え、主張し、行動することができる"に該当する。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ Activities that comprehensively Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レボート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
カストライン カスティン カスティン カスト カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン カスティン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィン アイフィング アイス アイフィング アイス アイフィング アイス アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイフィング アイス アイス アイフィング アイス	適宜配布		
キーワード/Keywords	授業で取り上げられたテーマにつ 能動的学習、理論的思考力、倫理	いて、文献検索などを利用して整理	

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
#1111 d15db1111105)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
THE STATE OF THE STATE OF STAT	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	"
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
	(対
第1回	(対面)
	ガイダンス,シラバスと成績評価基準の説明,自己紹介
第2回	(対面)
	文献・資料の探し方,図書館ガイダンス
第3回	(対面)
	調査についての個人発表I(発表5分+質問1分),発表指導,グループ分け(3~7名1組)
第4回	(対面)
	調査についての個人発表II(発表 5 分 + 質問 1 分),発表指導,グループ分け(3~7名1組)
\$50	(対面)
第5回	グループ研究テーマに関する調査,資料収集およびグループディスカッション ディスカッション,グループワークの進め方
	(対面)
第6回	(メカロラ グループ研究テーマに関する調査,資料収集およびグループディスカッション
(A)0日	クリティカルシンキング,科学的思考の指導
	(対面)
第7回	研究室見学
	(対面)
第8回	グループ研究テーマに関する調査,資料収集およびグループディスカッション
	(対面)
第9回	プレゼンテーションに関する指導
	相手に伝わるプレゼンテーション
	対面)
第10回	プレゼンテーションに関する指導
	(対面)
第11回	プレゼンテーション資料の作成
	相手に伝わるスライドの作成
	(対面)
第12回	プレゼンテーションの練習
M. 10 E	対面)
第13回	プレゼンテーション大会予選(各クラスから 1 チームを選出)
27.4.1	(対面)
第14回	プレゼンテーション大会決勝(各クラスから選ばれた15チームによる決勝)
	(対面)
第15回	レポート作成に関する指導
	科学的なレポートとは

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5	
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29			
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202405810030A8	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	小野寺 玄/Onodera Gen			
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	小野寺 玄/Onodera Gen	小野寺 玄/Onodera Gen		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小野寺 玄/Onodera Gen			
メロップ All 分類 / Course Category	対表ゼミナー川利日 対表ゼミナ		婴扣利用 / Flootive Courses	
対象年次/Intended year		ール科目,大学院科目[構造],自由 ## 美形能 / Courses atule	選択科目 / Elective courses 演習 / Seminar	
•	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	澳百 / Seminar	
教室 / Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年	F生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onodera@nagasaki-u.ac.jp	7.A		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階 生物有機化学実	<u> </u>		
担当教員TEL/Tel	095-819-2679			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで連絡すること			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	 1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の"自ら学び、考え、主張し、行動することができる"に該当する。 			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ Activities that comprehensively Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかな ど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されてい るか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)			
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力			
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
実務経験のある教員による授業科目であるか () () () () () () () () () (https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細/Course Schedule	
19 未们回开篇 7 00013C OCHECUTE	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(対面) ガイダンス,シラバスと成績評価基準の説明,自己紹介
第2回	(対面) 文献・資料の探し方,図書館ガイダンス
第3回	(対面) 個人発表I(発表 5 分 + 質問 1 分),発表指導,グループ分け(3~7名1組)
第4回	(対面) 個人発表II(発表 5 分 + 質問 1 分),発表指導,グループ分け(3~ 7 名1組)
第5回	(対面) グループ研究テーマに関する調査,資料収集およびグループディスカッション ディスカッション,グループワークの進め方
第6回	(対面) グループ研究テーマに関する調査,資料収集およびグループディスカッション クリティカルシンキング,科学的思考の指導
第7回	(対面) 研究室見学
第8回	(対面) グループ研究テーマに関する調査,資料収集およびグループディスカッション
第9回	(対面) プレゼンテーションに関する指導 相手に伝わるプレゼンテーション
第10回	(対面) プレゼンテーションに関する指導
第11回	(対面) プレゼンテーション資料の作成 相手に伝わるスライドの作成
第12回	(対面) プレゼンテーションの練習
第13回	(対面) プレゼンテーション大会予選(各クラスから 1 チームを選出)
第14回	(対面) プレゼンテーション大会決勝(各クラスから選ばれた15チームによる決勝)
第15回	(対面) レポート作成に関する指導 科学的なレポートとは

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時/Day・Period	金/Fri 5	
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		•	
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202405810030A9	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	•	•	
授業科目名/Course title	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the	鎌田 海/Kamada Kai			
course syllabus	7,7			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 海/Kamada Kai	鎌田 海/Kamada Kai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 海/Kamada Kai			
科目分類 / Course Category	 数差ゼミナー ・科日 数差ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選切利日 / Flootive Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kkamada@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟6階606号室			
担当教員TEL/Tel	095-819-2657			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3時間目			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけるととならいします。			
授業到達目標/Course goals	 1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の"自ら学び、考え、主張し、行動することができる"に該当する。 			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される reaching methods to stimulate students' thinking other than the above			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかな ど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されてい るか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)			
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力			
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
m-5/NGIIIai N3		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニンクティッフス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
 実務経験のある教員による授業科目であるか	inttps://www.minov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介(対面)	
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(対面)	
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導(対面)	
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導(対面)	
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導、グループ分け(3~7名一組)(対面)	
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第9回	プレゼンテーションに関する指導 (対面)	
第10回	プレゼンテーションに関する指導 (対面)	
第11回	プレゼンテーション資料の作成 (対面)	
第12回	プレゼンテーションの練習(対面)	
第13回	プレゼンテーション大会予選(各クラスから1チームを選出)(対面)	
第14回	プレゼンテーション大会決勝(各クラスから選ばれた15チームによる決勝)(対面)	
第15回	レポート作成に関する指導 (対面)	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030B1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	海野 英昭/Unno Hideaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	海野 英昭/Unno Hideaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	海野 英昭 / Unno Hideaki		
科目分類 / Course Category	┃ 教養ゼミナー	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科日 / Flactive Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	^{1, 2, 3, 4} 学部問い合わせのこと	m 我//	/英日 / ociiiThai
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	上子部 10子・初員エ子コーストー unno@nagasaki-u.ac.jp	<u> </u>	
担当教員研究室/Office	工学部 1 号館 3 階 生体分子化学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2685	大家至 J - J	
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(前もってメールで連絡を行	うま)	
担当教員オフィスアワー/OTTICE Hours			的活動に取り組み 投道教育
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	 1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の"自ら学び、考え、主張し、行動することができる"に該当する. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ Activities that comprehensively Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
m-5/NGIIIai N3		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニンクティッフス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
 実務経験のある教員による授業科目であるか	inttps://www.minov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介(対面)	
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(対面)	
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導(対面)	
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導(対面)	
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導、グループ分け(3~7名一組)(対面)	
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第9回	プレゼンテーションに関する指導 (対面)	
第10回	プレゼンテーションに関する指導 (対面)	
第11回	プレゼンテーション資料の作成 (対面)	
第12回	プレゼンテーションの練習(対面)	
第13回	プレゼンテーション大会予選(各クラスから1チームを選出)(対面)	
第14回	プレゼンテーション大会決勝(各クラスから選ばれた15チームによる決勝)(対面)	
第15回	レポート作成に関する指導 (対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
	/First Semester	HELD 1243 / Day 101100	<u> </u>
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030B2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(工学)/Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	DAO THI NGOC ANH		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	DAO THI NGOC ANH		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	DAO THI NGOC ANH		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	anh.dao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究等705室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2652		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで質問を受け付ける。直接	接質問したい場合はメールでアポイン	ノトをとること。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいします。		
授業到達目標/Course goals	 1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する . 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 vtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される btudents' thinking other than the above		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかな ど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されてい るか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
m-5/NGIIIai N3		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニンクティッフス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
 実務経験のある教員による授業科目であるか	inttps://www.minov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介(対面)	
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(対面)	
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導(対面)	
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導(対面)	
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導、グループ分け(3~7名一組)(対面)	
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)	
第9回	プレゼンテーションに関する指導 (対面)	
第10回	プレゼンテーションに関する指導 (対面)	
第11回	プレゼンテーション資料の作成 (対面)	
第12回	プレゼンテーションの練習(対面)	
第13回	プレゼンテーション大会予選(各クラスから1チームを選出)(対面)	
第14回	プレゼンテーション大会決勝(各クラスから選ばれた15チームによる決勝)(対面)	
第15回	レポート作成に関する指導 (対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credit (General/Transfer/Overseas)	s 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202405810030B3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(工学) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	瓜田 幸幾/Urita Koki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	瓜田 幸幾/Urita Koki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	瓜田 幸幾/Urita Koki		
A目分類 / Course Category	 対義ゼミナー ・科日 対義ゼミナ		h課切約日 / Flootive Courses
対象年次 / Intended year	教養セミナール科目,教養セミナ 1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
·		m我形態 / Course Style	澳百 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年	F生 ————————————————————————————————————	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	urita@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟802室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2668		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義前後 その他の時間はメールにて事前に	連絡してください	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。		
授業到達目標/Course goals	4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over b.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over b.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかな ど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されてい るか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施する。 状況に応じて、オンラインでの出席を認める場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(対面) ガイダンス,シラバスと成績評価基準の説明,自己紹介
第2回	(対面) 文献・資料の探し方,図書館ガイダンス
第3回	(対面) 個人発表I(発表 5 分 + 質問 1 分),発表指導,グループ分け(3~7 名1組)
第4回	(対面) 個人発表II(発表 5 分 + 質問 1 分),発表指導,グループ分け(3~7名1組)
第5回	(対面) グループ研究テーマに関する調査,資料収集およびグループディスカッション ディスカッション,グループワークの進め方
第6回	(対面) グループ研究テーマに関する調査,資料収集およびグループディスカッション クリティカルシンキング,科学的思考の指導
第7回	(対面) 研究室見学
第8回	(対面) グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション
第9回	(対面) プレゼンテーションに関する指導 相手に伝わるプレゼンテーション
第10回	(対面) プレゼンテーションに関する指導
第11回	(対面) プレゼンテーション資料の作成 相手に伝わるスライドの作成
第12回	(対面) プレゼンテーションの練習
第13回	(対面) プレゼンテーション大会予選(各クラスから 1 チームを選出)
第14回	(対面) プレゼンテーション大会決勝(各クラスから選ばれた15チームによる決勝)
第15回	(対面) レポート作成に関する指導 科学的なレポートとは

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	 曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5	
RR-##HDRR / O	/First Semester			
開講期間/Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29	W/12 WL / 40 //4 \ /50 WL / 40 //4	1	
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202405810030D9	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar			
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西川 貴文/Nishikawa Takafumi			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西川 貴文/Nishikawa Takafumi			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西川 貴文/Nishikawa Takafumi			
科目分類 / Course Category	┃ 教養ゼミナール科日 教養ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科日 / Flective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room	1, 2, 0, 4	開我が必7 00urse Style	/英日 / ociiiThai	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)				
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishikawa@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	工学部1号館教員・ゼミ室311			
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること			
担当教員オフィスアワー/Office hours				
担当教員オフィステラー/OTTICE Hours	月曜日5校時			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	 データの分析方法を選択することができる。 データの分析結果にもとづいて必要な答えを導き出すことができる。 データの分析結果を論理的に説明できる。 わかりやすいレポート作成ができる。 主としてDP- の "自ら学び、考え、主張し、行動することができる"に該当する。 			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 bry/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される bry/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%(課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30%(発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20%(ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20%(レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配付された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)			
キーワード/Keywords		能動的学習、理論的思考力、データ分析		
教科書・教材・参考書/Materials	原則として授業の各回において配付する。 毎回の授業において各自PCを使用するので必携すること。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites				

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks 学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。		
実務経験のある教員による授業科目であるか	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/		
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	IN .		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明等		
第2回	ラーニングティップス(ノートの取り方、資料の整理方法、文章表現の基本、レポートの書き方・ルール)		
第3回	資料収集ガイダンス、情報セキュリティ		
第4回	図形表現に関する演習 (様々な表現に触れる・アイスプレイク)		
第5回	図形表現に関する演習 (図解思考の方法)		
第6回	図形表現に関する演習 (用途に応じたグラフの種類の選択)		
第7回	データ分析演習 (データ分析の心構え)		
	> > MINCE (> > MINOCIANC)		
第8回	データ分析演習 (データ分析の設計)		
第9回			
	データ分析演習 (データ分析の設計)		
第9回	データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック)		
第9回	データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック) データ分析演習 (分析方法の選択)		
第9回 第10回 第11回	データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック) データ分析演習 (分析方法の選択) データ分析演習 (標準偏差の使い道と求め方)		
第9回 第10回 第11回 第12回	データ分析演習 (データ分析の設計) データ分析演習 (データ分析の事前チェック) データ分析演習 (分析方法の選択) データ分析演習 (標準偏差の使い道と求め方) データ分析演習 (グループ間の差の確からしさの検証方法)		